



香川家長屋門（岩国市）



令和4年度山口県土地家屋調査士会新人研修会



CONTENTS

令和3年度第4回本部研修会の報告

財産管理人支援センター運営委員 八田 廣 1

支部だより

令和3年度第1回周南支部研修会の報告

周南支部理事 濱田 裕治 2

令和3年度第1回山口支部研修会の報告

山口支部企画委員 吾郷 達也 3

令和3年度第1回萩支部研修会の報告

萩支部支部長 古江 直樹 4

西本聡士顧問が旭日小綬章を受章されました

副会長 乗川 慎二 5

「表示登記の日」無料相談会報告

各支部無料相談会開催場所・相談件数

柳井会場	岩国支部副支部長	高松 孝一	7
周南会場	周南支部理事	濱田 裕治	8
防府会場	防府支部理事	松田 幹央	9
山口会場	山口支部	吉岡 英治	10
宇部会場	宇部支部企画委員	村田 淳	11
下関会場	下関支部	中村 将二	12

日調連令和3年度土地家屋調査士新人研修受講報告

岩国支部 井上 雄太 13

宇部支部 内田 明宏 13

山口会新人研修

業務部理事 山根 克彦 14

事務所紹介

防府支部 吉村 憲和 19

宇部支部 木下 修治 22

会員の作るページ

須佐男命イカ 萩支部 廣石 勝 25

事務局だより

広報部からのお知らせ



No.139-2022

5

本部研修会報告

令和3年度第4回本部研修会の報告

財産管理人支援センター運営委員 八田 廣

日 時：令和4年3月18日（金）
16：00～18：00
場 所：山口県労働者福祉文化中央会館
（労福協会館）4階大会議室
研修内容：不在者財産管理業務の実際
講師 一般社団法人 管理権不明不動
産対策公共センター
理事長 中山 修身 弁護士
参加者：56名（会員52名、他会会員2名
司法修習生2名）

全国の所有者不明土地の占める割合は九州本島の大きさに匹敵するといわれているなか、財産管理人については、連合会の令和3年度事業方針大綱へも【不動産の管理人、土地境界の管理業務への参画】として、「所有者不明土地問題から発生する様々な問題に対し、土地家屋調査士の有用性の発信と裁判所へのアプローチ、また、法務局との更なる協力体制の構築と新しい業務への対応を図る」と明記されています。そこで今回の「財産管理人支援センター研修」は、不在者財産管理人としての実務の説明を弁護士の中山先生にお願いしました。

当研修会は、コロナ禍になってからは約2年ぶりの会場参集形式のみの本部研修会となりました。これは本研修会の内容が、中山先生が実際に受託した事件を詳細に紹介しており、また配布された参考資料についても機微に触れる箇所があることから、録画録音等が可能であるオンライン配信に不向きであると判断したもので、また説明のために提示された当該参考資料については、参加者が持ち帰る事の無いよう、研修会終了後はすべて回収しました。

講義の内容も、先に述べたように実際に中山先生が受託した事件を、不在者財産管理人として受託した経緯から、苦慮した出来事や、費用計算、そして事件の終結に至るまで、具体的かつ詳細に説明してくださりました。このことは、今後本件業務に携わることになる、我々土地家屋調査士の職能への期待の表れであると理解しています。

令和5年4月1日には民法の一部が改正さ

れ、新たな財産管理制度が創設されます。これは調査を尽くしても所有者やその所在を知ることのできない土地・建物について、利害関係人が地方裁判所に申し立てることにより、その管理人を選任してもらうことができるようになります。管理不全状態にある所有者不明土地が、全国的な社会問題となるなか、本研修会が、我々土地家屋調査士が不在者財産管理人として、その実務に携わる可能性をよりはっきり見いだすきっかけになったことは言うまでもありませんが、他方、我々が不慣れでもある司法手続についても、より深く理解する必要性もあらためて感じさせられました。



支部だより

令和3年度第1回周南支部研修会の報告

周南支部理事 濱田裕治

日 時 令和3年11月12日（金）
13時00分～15時15分
場 所 山口地方法務局周南支局3階会議室

研修内容

- 第1部 会員と法務局周南支局（野村表示登記専門官）との意見交換会
- 第2部 ドローン等の測量機器のご紹介

令和3年11月12日に周南支部第1回研修会が行われました。

第1部は今年、周南支局へ異動された野村表示登記専門官との意見交換会で、野村表示登記専門官からオンライン申請のメリット等を含む日頃の登記業務の説明や気づき、お願い事項についてお話しされた後、会員からの質問にお答え頂きました。

その中で調査士報告方式について、申請の受付から早期に調査を開始できるメリットもあれば、カラーやA3での出力ができないため調査や添付情報の確認に手間がかかると逆に処理に時間を要する場合があるなどのデメリットについて説明があり、法務局側の事情や処理について具体的に知ることができました。

境界確認書などカラーやA3図面がある場合は半ラインで申請するなど、登記官の調査・処理のスピードアップに繋がれば登記の完了を速められると思うので、申請内容によって柔軟に対応していこうと思いました。

第2部は、株式会社トリンブルパートナーズ中国の担当者を招いて、測量機器のご紹介を頂きました。

ドローンは規制により飛ばすことができず、展示と資料説明のみとなりましたが、その代わりに新世代型3Dレーザースキャナーの実演をして頂きました。

Trimble X7という器械で、専用の三脚も含め軽量、自動キャリブレーションで自動傾

き補正、専用タブレットでその場でスキャンした点群の合成ができるなど、測量未経験者でも容易に取り扱え、高い作業効率を持つものでした。点群密度にもよりますが、1箇所につき約2分でスキャンができるようです。

現況測量にとっても便利であるとは思いましたが、私には使いこなせる知識も手に届く価格でもありませんでしたので、凄い器械があるものだなあと、ただただ感心するのみでした。

久しぶりの集合形式の研修でしたが参加者も多く、少しずつコロナとの付き合い方にも慣れてきたように思いました。



令和3年度第1回山口支部研修会の報告

山口支部企画委員 吾郷達也

日時 令和4年2月9日（水）15：00～
 場所 Web（配信ソフト：Zoom）
 研修内容 「調査士業務のIT化」
 講師 山口支部 吉岡英治会員
 参加者 20名（他会支部1名）

当初、集合形式で予定していましたが、オミクロン株の急速な感染拡大を受け、急遽Zoomを使用したオンライン形式での開催となりました。本会事務局の設備をお借りし、本会役員の山根克彦会員からサポートをいただきながら進行していきました。

今回は「調査士業務のIT化」をテーマにして、当支部の吉岡会員に講師をしていただきました。吉岡会員は測量会社や建設会社での勤務を経て開業されており、その経験談を交え、次のような内容を自作のパワーポイントにて紹介していただきました。①ワンマン測量やドローンによる測量をするようになったきっかけ ②フリーソフトを使用した写真の編集方法 ③観測データと航空写真との重ね合わせ方法 ④CADデータをGoogle earthにて展開する方法 ⑤インターネットブラウザを利用したの連動作業

- ① では、測量業界や建設業界での人手不足を解消するため、また、現場での作業効率を上げるために導入した経緯など、導入を考えている私にはとても興味のある内容でした。
- ② では、過去の航空写真で白黒のものに色付けしていくと、土地の形状が浮かび上がってくるようでした。さらに利用状況までもイメージできるように感じました。
- ③ では、世界測地系で観測したデータと現在の航空写真や過去の航空写真を重ね合わせると、対象土地の位置形状等を把握することができました。この作業は普段からしており、その重要性を再確認できました。
- ④ では、私自身スマートフォンのGoogle earthを利用して多角点や筆界点の探索をした経験があり、大まかな位置情報を得るには便利な機能なので、とても役に立っています。
- ⑤ では、インターネットブラウザGoogle

chromeを利用してPCやスマートフォン等の各デバイスと同期することによって、時間や場所を問わず作業が可能となっているとの事でした。ただ、その情報の管理は徹底しなければいけないと思いました。

近年、様々な分野でのIT化が進み、インターネット上で取得できる情報も増えてきました。土地家屋調査士の仕事は、出来るだけ多くの情報や資料を収集し、それを最大限に生かす技術が必要だと感じました。

冒頭のとおり急遽初めてのWeb研修となり、準備不足のためスムーズにはいきませんでした。今後新たな取り組みにもチャレンジしていきたいと思います。運営のサポートをして下さった方々に感謝致します。



令和3年度第1回萩支部研修会の報告

萩支部支部長 古江直樹

日時：令和4年3月11日（金）
13時30分～15時30分
場所：Web研修（配信ソフト：Zoom）
内容：『不在者財産管理人について』
講師：山口県土地家屋調査士会
杉山浩志 会長
参加者：萩支部会員8名（全員参加）

令和4年3月11日（金）13時30分～15時30分の日時に第1回萩支部研修会を開催しました。

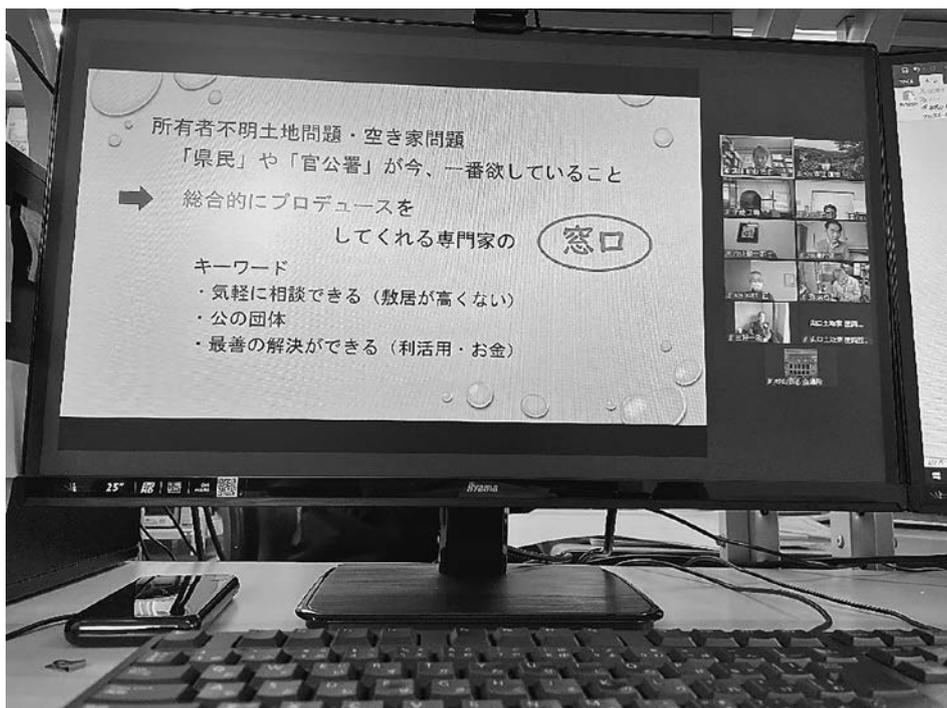
新型コロナウイルスの影響により、令和2年度は支部研修会を行えませんでした。本年度はWeb研修（配信ソフト：Zoom）方式により各事務所から研修会に参加をする方法で行いました。

講師の杉山会長より『不在者財産管理人に

ついて』分かり易い内容の研修であり、出席した萩支部会員全員の理解が深まったと感じております。

又、土地家屋調査士の今後についても危機感を持たなければならないと感じたと同時に今後の期待もありました。ただ、新しい事への取組へ一歩踏み出す為にも各自の日々の研鑽も必要である事も再認識させられた研修でもありました。

萩支部初めてのWeb研修ではありましたが、予定どおり無事に終える事ができました。講師の杉山会長には忙しい中、萩支部研修会の講師を引き受けて頂き大変ありがとうございました。又、Web配信：Zoomの協力を頂きました事務局の皆様ありがとうございました。



西本聡士顧問が旭日小綬章を受章されました

副会長 乗川慎二

令和3年の秋の叙勲で、西本聡士顧問が土地家屋調査士制度の充実・発展に寄与された功績が称えられ、旭日小綬章を受けられました。

西本顧問は、山口会会長を平成19年から平成27年まで4期8年にわたり歴任され、会長在任中には、現在の「境界問題解決支援センターやまぐち」の前身である「境界問題相談センターやまぐち」の発足等にご尽力されました。

本来なら皇居で綬章式が行われますが、コロナ禍の為、中止となりましたので、令和3年12月23日に山口地方法務局にて、山口地方法務局長 石崎司様より賞状及び勲章が伝達されました。

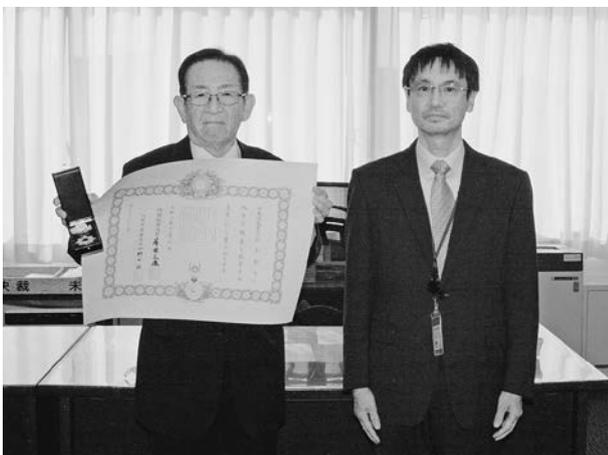
心よりお祝いし、今後ますますご活躍されることを祈念いたします。

～西本聡士顧問からひとこと、お言葉をいただきました～

1977年（昭和52年）に土地家屋調査士業務を開業して45年になります。このたびの受章に際して、ご指導・ご援助をしていただいた会員の皆様、法務局関係の皆様、退会された先輩の皆様に感謝の言葉しかありません。深くお礼を申し上げます。

70歳を超え業務に対する意欲は年々衰えを感じていますが、業務部長を拝命していた際に実施した、境界標設置キャンペーンの標語であります「杭を残して悔いを残さず」をこれからもライフワークとして、山あり谷ありの一日が過ぎていく調査士人生を、これからも楽しむことができると考えています。

ありがとうございました。



「表示登記の日」 無料相談会報告

「表示登記の日」 無料相談会開催場所・相談件数

日時	場所	件数
4月1日(金) 10:00~12:00 13:00~15:00	田布施町商工会館(サリジエ) 2階研修室 熊毛郡田布施町大字下田布施814-1	2
4月1日(金) 10:00~15:00	山口地方法務局周南支局 3階会議室 周南市周陽二丁目8番33号	3
4月2日(土) 9:00~13:00	サンライフ防府 防府市八王子二丁目8番9号	1
4月1日(金) 9:00~15:00	山口県土地家屋調査士会館 1階ロビー 山口市惣太夫町2番2号	5
3月27日(日) 10:00~15:00	フジグラン宇部1階 ドコモショップ前 宇部市明神町3丁目1番1号	7
4月1日(金) 9:00~15:00	下関市役所 1階ロビー 下関市南部町1番1号	2
合計		20

柳井会場

岩国支部副支部長 高松孝一

日 時 令和4年4月1日
10時～15時
会 場 田布施町商工会館（サリジエ）
2階研修室
田布施町下田布施814-1
相談件数 2件

例年柳井地区では柳井市で相談会を行っていたが、今年は田布施町において、さくら祭りの行われる田布施川沿いの建物の2階で計画した。相談会の翌日からではあるが「さくら祭り」がコロナ禍で中止となったので、相談会にどのような影響があるのか不明で心配

でもあった。開場早々2組の相談者が来られ、相談件数「0」は免れひとまずは安心した。

相談内容

- ①土地所有者から取壊し予定の建物の名義が前所有者のままでの取扱いにかかるもので、所有権にかかる問題があり弁護士を含めた相談会を紹介した。
- ②利用状況と登記の不一致にかかる課税上の相談で、持参された資料では現状の確認ができないため、後日相談員の事務所に来ていただくこととした。



相談会場



相談会場からの桜

周南会場

周南支部理事 濱田裕治

日 時 令和4年4月1日(金)
10時00分～15時00分
場 所 山口地方法務局周南支局3階会
議室
相談件数 3件

上記のとおり、表示登記の日無料相談会を開催しました。

コロナウイルス対策として、受付には消毒液、相談用のテーブルには透明アクリル板を設置し、天候・気候ともに良好の中、3組の来場がありました。

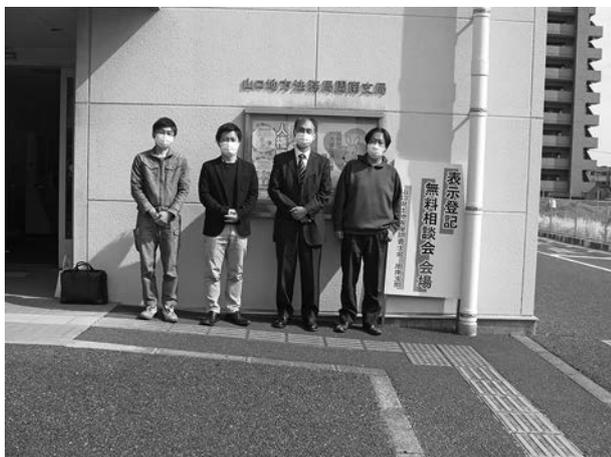
相談内容は以下のとおりです。

- ・境界確認について、地籍図と寸法が若干異なるがどうしたらよいか
- ・土砂災害のレッドゾーンに指定された土地

建物の活用方法が分からない
・相続をする土地について、名義がどうなっているか・所在が分からない

来場者は60歳代～80歳代といずれも高齢で、土地家屋調査士業務の範疇ではない相談もありましたが、それぞれ相談員の対応・説明に満足いただいた様子でした。

来場者の中には、次世代に迷惑を掛けないよういつか整理をしなければと考えていた中、無料相談の広告を見て来場された方もいました。一般の方は具体的にどこで誰に相談をしたらよいか分からずに「いつか」になることが多いと思いますので、無料相談会は重い腰を上げる良いきっかけになると感じました。



防府会場

防府支部理事 松田幹央

日 時 令和4年4月2日(土)
午前9時～午後3時
場 所 サンライフ防府2階
相 談 員 7名(午前4名、午後3名)
相談件数 1件

防府会場は、コロナ禍の影響もあり、表示登記の日無料相談会は3年振りの開催となりました。まだまだコロナの感染が拡大している影響もあるのか、例年に比べて相談者は少なく、午後に1名のみでした。

その1件は、隣接地所有者との境界について、「裁判で境界は確定したものの納得できないところがある」というものでした。裁判で境界が確定していることもあり、相談者が満足するような回答はできませんでしたが、ため込んでいた想いを我々に吐露することにより、少しスッキリして帰られた印象でした。



残念ながら今回の相談件数は少なかったものの、コロナ禍で支部の会員が集まる機会も少なくなっていたので、相談会の合間に情報交換など、有意義な時間を過ごすことができましたと思います。

土地家屋調査士制度の宣伝のためにも、次回の杭の日無料相談会にはもっと多くの相談者に来ていただきたいと思います。



山口会場

山口支部 吉岡英治

日 時 令和4年4月1日(金)
午前9時から午後3時まで
場 所 山口県土地家屋調査士会館1階
ロビー
相談員 2名
相談件数 午前1件、午後4件(うち1件は
電話相談) 計5件

早朝の冷え込んだ寒さの中、山口県土地家屋調査士会館1階ロビーで無料相談会を行いました。一旦はデルタ株の感染が年末収束したもの、新たな株であるオミクロン株の感染拡大が増えている中、来場者があるかの不安をかかえながらの開催となりました。

午前には、1件事前の問い合わせがあり、1組の来場者がありました。

午後の昼時間に1組の電話連絡があり、その後立て続けに3組の来場者がありました。

午前の部

1. 相続する土地の境界に石があり、これが境界であるか。費用はどのくらいかかるか。

また昔、薪を搬出するのに利用されていた山林の相続する予定である。この土地に、地上権が設定されているが、現在は薪を搬出する人は誰もいない。設定者に連絡を取るよう言われているが、地上権を抹消したい。

回答：石が境界であることもあるが、相談土地は14条地図地域(昭和56年、精度区分乙二地域)であり、市役所に古い座標データが残っているかもしれない。現地にはペンキが残っていることもある。また現地には擁壁やブロックがあるとのことなので、14条地図をおよその距離を三角スケールで読取り、現地の距離で測ってみると分かるかもしれない。現地に行ってみないと分からないが、三角スケールで距離を14条地図へ記入した。

費用については、事前測量、隣接所有者と

の連絡調整、境界立会等があるため地域により異なるが思っているより費用は掛かると思われる。(目安の金額を伝えた。)司法書士に抹消したい旨の相談をして下さいとアドバイスをした。

午後の部

2. 自己資金で会社の建物を新築したが登記をした方が良いのかどうか。登記することのメリットとデメリットを教えてください。

回答：デメリットは、相続する際に建物の特定が課税証明書からでない特定できないため相続人が新たに登記をすることになる。万が一、融資をしてもらう際に登記をしていないと融資がしてもらえないなどがあるとアドバイスをした。メリットよりデメリットがあると話した。

3. 自己所有の農地を転用して原野にする予定で農業委員会より許可をもらったが、固定資産税が一気に高額になり困っている。不服審査法により審査してもらったが却下された。

許可を取り消して元の農地に戻すことはできるか。

回答：行政書士へご相談した方が良いとアドバイスをした。

全体として、法律の相談や登記実務の内容に関する相談が主だったように見受けられました。

国は、登記の義務化を進めていく方向であるので、より一般の方々へ相談に乗る機会が必要であると感じた相談会でした。



宇部会場

宇部支部企画委員 村田 淳

日 時 令和4年3月27日（日曜日）
10：00～15：00

場 所 フジグラン宇部
宇部市明神町3丁目1-1

相談員 午前 4名 午後 4名 計 8名

相談件数 午前 5件 午後 2件 計 7件

晴天の日曜日、マスクを着けた人々が行きかう商業施設・フジグラン宇部、その1階広場に相談会場を設置して、8名の会員が「表示登記の日」無料相談会に臨みました。

相談と対応の内容

1. Q：分筆登記に要する費用を知りたい。
A：受託者や不動産の状況等によって変動するため、見積を取られるよう助言した。
2. Q：畑を売却したい、どのようにすればよいか。
A：不動産業者に相談することを勧めた。
3. Q：自己所有の土地の一部が道路として使用されている。
A：所有権の侵害に関わる事例であるた

め、ADRを視野に入れることを提案した。

4. Q：高齢で自宅の売却を考えているが接道する道路幅が狭い、周囲にも売却を考えている高齢者が多い。
A：周囲の方々と共に不動産業者に相談することを勧めた。
5. Q：宅地と農地が混在する土地を地目なりに分筆して、農地部分の固定資産税額を下げることは可能か。
A：現実に地目が異なっていれば登記を要するものの、固定資産税については宇部市役所の税務課に相談に行かれることが良いと助言した。
6. Q：土地の売却に関する相談。
A：不動産業者に相談することを勧めた。
7. Q：隣地の一部を取得したい。
A：売買契約の締結が先決であるため、隣地所有者または不動産業者と協議することを助言した。

相談者の大半は、宇部市の広報で相談会を知った高齢の方で、相談内容の多くは不動産の売却に関するものでした。



下関会場

下関支部 中村将二

日 時 令和4年4月1日（金）
午前9時から午後3時まで
場 所 下関市役所1階ロビー
相 談 員 午前2名 午後2名
相 談 件 数 午前2名 午後0名

まん延防止等重点措置が解除されたことを受け、「表示登記の日」である4月1日に、下関市役所1階ロビーにて無料相談会を行いました。

事前広報として下関市報「しものせき」に掲載しておりましたが、今回の相談者はどちらも、無料相談会が開催されているのを通りがかりに見て、とのことでした。

その相談内容については、詳細な内容については割愛させていただきますが、被相続人名義の建物を取り壊すための事前準備として、建物の所有者を被相続人から相続人へ変

更する、相続による所有権変更登記が必要になるか、という内容で、昨今の社会情勢を反映したような相談内容でした。

この他として午前には、もう1名相談がありました。相談内容を聞くうちに、土地家屋調査士ではなく司法書士が受ける相談内容では、という判断に至り、司法書士への相談を助言しました。

午後の部は、残念ながら0名ではありましたが、無料相談会を開催することによって、より多くの方に土地家屋調査士を知っていただき、表示登記もしくは土地の境界に関する悩みを解決できる一助となることによって、少しでも市民の方々のお役に立つことができれば、と考えます。

簡単ではありますが、以上をもって報告に代えさせていただきます。



日調連新人研修会 受講報告

日調連主催令和3年度土地家屋調査士新人研修

日時 令和4年2月14日(月)～2月16日(水)
場所 各自の事務所等 (ZoomによるWeb研修)

岩国支部 井上雄太

宇部支部 内田明宏

令和4年2月14日～16日の三日間にわたって、リモート形式での新人研修に参加させていただきました。本来なら全国にいる新人の調査士の方々と直接対面して、一緒に研修を受けることができたなら良かったのですが、講師の先生方が、今までに培ってきた知識や経験を基に、多岐にわたって話してくださったので、難しい内容の講義もありましたが、とても為になる研修となりました。

講義では土地家屋調査士の職責と倫理、土地と建物の調査・測量の実務、報酬、ADRなど様々な内容の話がありました。土地家屋調査士試験では民法、不動産登記法、土地家屋調査士法を勉強していましたが、建築基準法、農地法、都市計画法などの実務と関連する法律も学習していく必要があるなど感じました。講師の先生方の膨大な知識量にはとても驚きましたが、この研修で教わったことを理解できる範囲で習得し、今後の実務に活かしていけたらいいなと思います。

最終日には課題があり、抽選で選ばれた5名の方が発表しました。発表の中には、事前に自分で書いていた内容とは全く違う視点のものがあり、数多くの発見がありました。ひとつの事案においても、様々な視点で考えることができるように日々勉強していこうと思います。

最後になりましたが、新人研修を開催するにあたりご尽力された方々、講師の先生方に深くお礼を申し上げます。

この度、土地家屋調査士新人研修に参加させていただきありがとうございました。

ウェブ配信での研修となりましたが多くの先生方の講義を受講でき大変有意義な研修となりました。

講義の内容も会員の心得、職責、論理から始まり職務上請求、ADR、境界の実務等、多岐にわたり濃密かつ興味深いものばかりの内容で、改めて土地家屋調査士としての仕事の責任の重大さを理解するとともに奥が深いものだと感じさせられました。

コロナ禍の中で同期の方々と机を並べて学習することはできませんでしたが、これからもこのような研修等あれば進んで参加し、他の先生方とコミュニケーションをはかり経験、知識をたくわえ、自身のスキルアップに繋げ一層精進していこうと思います。

最後になりましたがお忙しい中今回の研修会を開催するにあたりご尽力された皆様方に対しまして、深くお礼申し上げます。ありがとうございました。

山口会新人研修

令和4年度山口県土地家屋調査士会新人研修会の報告

業務部理事 山根克彦

日 時：第1日目 令和4年4月1日(金)
13時30分～16時50分
第2日目 令和4年4月2日(土)
9時30分～17時00分

場 所：山口県土地家屋調査士会館

研修内容：

1日目

- ・自己紹介、土地家屋調査士の将来を語る
- ・建物編(グループ討論・発表)、全体討論

- ・国民年金基金について

2日目

- ・きっと業務に役立つ技法の紹介
- ・懲戒事例、苦情案件について
- ・立会実務について
- ・実例紹介、討論

参加者：13名

(登録者10名・有資格者3名)

「どうやった？ なんて聞かれた？」「う～ん・・・」

2日目の立会実務をやり終えた後に精神的に疲れきった表情の受講者が控室に戻ったときの一場面です。

2年振りに「山口県土地家屋調査士会新人研修会」を上記の日程で開催しました。

コロナの影響により致し方なく中止になっていたものの、今年度は、感染対策を万全に

して開催いたしました。

受講者の中には、日本土地家屋調査士連合会主催の新人研修会を受け、更に山口県土地家屋調査士会新人研修会を受講した方もいました。

業務部としては折角受講してもらえのなら、日調連の新人研修とは違った内容で、しかも実務に即したのとはどういったものなのか。を部会で議論し内容を検討いたしました。

1日目、最初の講義は、「土地家屋調査士の将来を語る」です。受講者とともにこれからの調査士の将来を熱く語り合うという井上副会長の企画であり、白熱するだろうと意気揚々とスタートしました。が、思惑とは正反対に低空飛行が続き、予定していた60分を大幅に短縮する事態となりました。今考えれば、始めて会った人と、いきなり熱く語り合うなんてハードルが高すぎたと思います。

スタートダッシュに躓き、どうなる事かと心配しましたが、次の講義は、「建物編」です。課題に対し、登記の目的は？添付書類は？どの程度まで調査するの？など、どの様な手続きを行うかというものでした。グループ討論形式にしたことが功を奏したのか、それぞれのグループで意見が飛び交い、大変な盛り上がりを見せ、第1日目を終える事が出来ました。

懇親会は希望者のみの参加と致しましたが、研修会とは違った話題もあり、受講者同士の仲も大いに深まったのではないのでしょうか。

第2日目の午前中はGoogle Earthを用いた、重ね図作成方法やショートカットキーなど、業務に役立つ技法を紹介しました。今後の業務に生かして戴ければ幸いです。

懲戒事例、苦情案件については山口会に寄せられた事例を紹介しました。受講者は皆、神妙な面持ちで聞き入っていました。

午後からは、「立会実務」です。調査士会館駐車場に現場を設置し、実際に立会業務をして頂きました。受講者には事前に事案を説明し、資料を熟読してもらい、受講者1人ずつを呼び出し、立会業務をおこないます。

依頼者・隣接者役は、適任である役員にお願いし、迫真の演技で受講者に相對しました。1人約15分間という時間ではあったものの、冒頭で書かせて頂いたとおり、意地の悪い隣接者などの質問攻めへの対応に苦慮しており、地獄の15分であったのではないのでしょうか。

研修会を振り返ってみると全体的に実務に寄り過ぎた内容だったかもしれません。しかし、いずれ自分の業務として当たる案件です。

今回の研修会では、グループを作ることで自分以外の人の意見を知ったり、議論したりした事ができ、受講者13人の方々の仲

は大変深まったのではないかと感じました。

自分一人では解決が難しい案件でも、相談し合える心強い仲間がいることで乗り越えられることもあるはずです。この新人研修で知り合った仲間（我々も含め）を大切にしてもらいたいと思います。

研修会を開催するにあたり、準備は大変でしたが、入会された新人同士が仲間を作るきっかけになった研修会に携われた事を大変嬉しく思います。

最後になりましたが、この研修会に携わってくださった、業務部以外の関係者の皆様方に心より御礼申し上げます。

受講者の感想

岩国支部 井上雄太

この度は、「山口会新人研修会」に参加させていただき有難うございました。

実務経験のある方も多く、講師の先生方と研修生で様々な意見が交わされていたので、有意義な時間を過ごすことができました。印象に残ったのは立会実務です。立会がスムーズにできるように事前の調査や準備がとても大切だなと感じました。



今回の研修で学んだことを今後の実務に活かしていきたいと思えます。

最後に、研修会の運営に携わって頂いた講師の先生方、山口県土地家屋調査士会の皆様に厚く御礼申し上げます。

周南支部 山下裕司

令和4年4月1日・4月2日に新人研修に参加させていただきました。

実際の業務で活躍する先輩方の研修を受講することができ、大変有意義な研修となりました。

研修の内容は、グループ討論や実務での技法、懲戒苦情案件、立会実務等多岐にわたり、内容についても非常に濃密なものでした。

今回の新人研修を受講し、先輩方や他の受講者の方の意見を聞き、大変勉強になりました。私自身、補助者として経験を積んでまいりましたが、今一度初心に戻って日々精進していきたいと思えました。

今回の研修の内容は、今後の業務にとっても役立つものだと思いますので、関係資料は大切に保管し、実際の業務に活用していきたいと考えています。

最後になりましたが、お忙しい中今回の研

修会を開催するにあたりご尽力された皆様方に対しまして、深くお礼申し上げます。ありがとうございました。

防府支部 松田幹央

今回の研修では、今まで調査士業務を通して経験してきたことの再確認とともに、新しい発見を数多くさせて頂きました。また、同じ調査士の仲間と意見を出し合い討論するという機会はとても楽しく、貴重な経験になりました。

私は残念ながらスケジュールの関係で、今回すべての内容には参加することができなかつたのですが、このような学びの機会には、今後ともぜひ積極的に参加させていただきたいと思っております。最後に、お忙しい中研修開催に携わっていただいた方々に厚く御礼申し上げます。

山口支部 齊藤浩信

事例を用いての土地、建物のグループ討論は、こんなケースもあるんだと知ることができるし、グループ内でお互いに熱く語り合えるし、そして親睦は深まっていくし、良いこ



と尽くしだなあと感じました。

立会の実践研修は、やはりアタフタとしましたが、事前にもっとできることはあったなあという気付きを感じられて、良かったと思います。

また、新人の方々の中でも、今までに色々な経験を積まれていることを聴くと、自分も頑張ろうと身の引き締まる思いをしました。

先輩、各講師の方々もとても丁寧に対応してくださり、お忙しい中で色々と準備していただき、とても良い経験をさせて頂きました。本当にありがとうございました。

山口支部 荒木 進

調査士として登録してから丸2年になりますが、やっと対面での研修に参加することができました。

研修内容は対面でしか出来ない実践的な内容ばかりで、気づきの多い有益な内容ばかりでした。また主催者の先生方の熱のこもったサポートにとっても感激しました。懇親会も色々な方の話が聞けて本当に有意義でした。

時期的に大変な中でこういった研修を準備・実行していただいた役員の皆様に大変感謝しております。ありがとうございました。

山口支部 藤江義高

山口会新人研修に参加致しました。

私は実務の経験が少なく、各講義において勉強になる事ばかりでした。

先輩調査士の方には、私が知りたかった事をしっかりと教えて頂き、土地家屋調査士としての考え方や業務に臨む姿勢というものをしっかりと身に付ける事が出来ました。今回の講習で一番記憶に残っている事は、境界立

会のシミュレーションです。どうしたらいいか分からず戸惑う事ばかりでしたが、実際の現場では、教わった教訓を活かして業務に臨みたいと思います。

今後も、この様な素晴らしい講習に参加できればと思いますので、宜しくお願い致します。

最後に、企画運営を下された方々に心からお礼申し上げます。

山口支部 松永匡史

新人研修会において、基本的なことから、実務をしないとわからないようなこと、学問的なことなど多岐にわたった研修を受けました。

グループ討論では実務における考え方、進め方について様々な意見を伺うことができ、視野が広がったように思います。また境界立会のシミュレーションもあり、遭遇したことの無いタイプの申請人にはとてもテンパってしまいました。

かなりハードな部分もありましたが、今後に生きる非常に良い研修会になりました。運営に携われた諸先輩方にこの場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございました。

山口支部 上村正洋

4月1日から2日間の日程で開催された山口会新人研修会に参加させて頂きました。2日間の研修ではありましたが、グループ討論や立会業務の実技指導などによって、何もわからない新人ですが、これから実務を行う上で必要不可欠な事を学ぶことが出来ました。

これからも開催される色々な研修会等に参加させて頂き、自己研鑽に勤めたいと思いま

す。最後に今回の新人研修会実施にあたり、お忙しい中、ご尽力された方々に対して、深く御礼を申し上げます。

宇部支部 内田明宏

4月1日から2日間、山口県土地家屋調査士新人研修に参加させていただき、ありがとうございました。

コロナ禍の中で、山口県土地家屋調査士会新人研修に参加できたこと、誠に嬉しく存じ上げます。

先日の日本土地家屋調査士会連合会新人研修はウェブ配信での受講でしたが、今回は対面での研修で身近な先生方の講義を直接受講でき、大変有意義な研修となりました。

講義の内容もグループ討論、Google Earthを使った重ね図、境界確認の立会実務等、実務に直結する研修であり、親睦会は日常の素朴な疑問等聞くことができ、とても有意義な2日間でした。

最後になりましたがお忙しい中、今回の研

修会を開催するにあたりご尽力された皆様方に対しまして、深くお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

宇部支部 水津一成

この度は、山口会新人研修会に参加させて頂きました。

業界自体には30年弱いるものの主に測量業務に従事していた為、今回の講師の先生方の講義は大変参考になりました。

質問する事もままならず、まだまだ勉強する事だらけだと痛感しました。

初日の親睦会にも出席させて頂き、役員の先生方及び新人メンバーと色々な話をする事が出来、とても充実した2日間でした。

今後もこのような研修会には積極的に参加し、実務の向上に努めたいと思います。

最後にコロナ禍にも関わらず、大変お忙しい中、研修会を実施して下さい大変感謝致します。



事務所紹介

防府支部

吉村憲和 事務所

防府市大字大崎254番地の1



よしむらのりかず
 会員氏名 **吉村憲和**

Q. 家族構成・(事務所のスタッフ) について教えてください。

妻 (41才) (事務所のスタッフ)

長男 (20才)

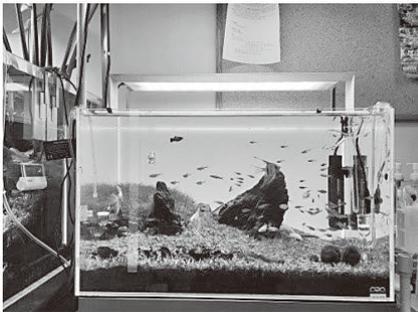
次男 (18才)

長女 (13才)

柴犬 (2才) 雄

熱帯魚 (?) 約200匹

男性 (38才) (事務所のスタッフ)



Q. 事務所の所在地について教えてください。

防府市大字大崎という場所にあります。

防府市役所には近くありませんが、国道2号線と国道262号線、山陽自動車道が近くにあり交通アクセスが良いところです。

Q. 調査士になったきっかけは?

防府市で開業されておられる先生の事務所でお世話になっておりました。

在職中に資格を取得をしまして、開業することとなりました。

この場をお借りしまして、お礼申し上げます。ありがとうございました。



Q. 趣味・特技・自慢・(最近ハマっていること) などについて教えてください。

昨年(2021年)に大型自動二輪免許を取得しました。季節は春、秋限定ですが、バイクツーリングを楽しみたいと思っています。



Q. 調査士業務の中で一番印象に残っていることは?

林の中でスズメバチの巣をつついて追われたことです。

Q. 座右の銘、好きな言葉、尊敬する人物等について教えてください。

「いまやらねば いつできる わしがやらねば たれがやる」
彫刻家の「平櫛田中(ひらくしでんちゅう)」氏の言葉です。

Q. 調査士として、これだけは譲れないポリシーやこだわりはありますか?

誤解、間違い、勘違いしないように気をつけています。

Q. 休日の過ごし方について教えてください。

よく食べ、よく寝ています。

Q. 将来のビジョンについて教えてください。

海が見える家でのんびり暮らしたいです。

Q. 好きな食べ物、嫌いな食べ物

好きな食べ物は、噛んだ時の感触が良い野菜です。

嫌いな食べ物は、においがきついもの。

Q. これからの調査士に望むことはありますか?

今はありません。まだまだ自分が未熟なもので。

Q. 広報部への要望などありますか?

昨年、広報部で大変お世話になりました。広報部は事務局の森下さんのおかげで運営できていると実感いたしました。今後もよろしくお願いします。

Q. 使用している光波、測量ソフト等を教えてください。又、その良いところは?

使用している光波：ライカ MS60



使用している測量ソフト：アイサンテクノロジー Wingneo®INFINITY

長年使用していますので自分にとって使いやすいです。

Q. 現場作業や事務作業において効率が上がる特殊な道具類があれば教えてください。
やる気です。

Q. その他（題材はご自由に）

2010年に開業して11年が経ちました。長男も二十歳を迎えることができました。長女があと7年で二十歳を迎えますのでそれまでは最低でもお世話になりますのでよろしくお願いいたします。

宇部支部

木下修治 事務所

山陽小野田市大字丸河内974番地



きのしたしゅうじ
 会員氏名 木下修治

Q. 家族構成・事務所のスタッフ

家族は、私1人です。現在64歳、結婚もせず今思うことは死んだ両親に申し訳なく思っています。

事務所は現在1人です、現場での測量業務、境界立会等は同僚調査士に助けてもらいながら業務をこなしています。1日でも早く補助者登録し2人体制で事務所を動かしたいと考えます。



Q. 事務所の所在地

自宅の一角を仕事部屋（事務所）としていますが、国道190号線を南に約200メートル、山陽小野田市と宇部市の市境の静かな住宅地にあります。現在、事務所としている建物は私が調査士になる前までは敷地内の空き家であった物を事務所とし、現在は住居兼事務所として生活しています。ちなみに調査士として最初の仕事は、現在の住居兼事務所の未登記建物からの建物表題登記、及び今まで生活していた自宅を取り壊した事による建物滅失登記の申請業務2件です。



事務所外景

Q. 調査士業務の中で一番印象に残っていること

調査士登録は平成28年4月1日、58歳ゼロからのスタートであります。実務（実践）を経験する為、公嘱協会に入会し平成29年、30年に14条地図作成業務に参加させて頂いたことが私にとっての調査士としての原点であります。1年目は基準点の選点及び基準点測量、2年目は一筆地測量（確定測量）、特に2年目の一筆地測量では、1人の先輩調査士の下で立会時の地権者とのア



事務所内



デスク周り

プローチの方法、トラバーの回し方、測量データの処理等々、調査士実務（実践）の基本を厳しく教えてもらったことが今に繋がっていると考えます。

今でも年に数回、当時の現場を通る時、『原点回帰』頑張れよと自分に言い聞かせます。

Q. 好きな言葉

“凜として旅立つ一朶（いちだ）の雲を目指し”

この一文は以前NHKで放送された「坂の上の雲」の主題歌、「スタンド・アローン」の中にある歌詞の一部です、曲も私は大変好きです。皆様も一度聞いてください。

Q. 現在使用している光波、測量ソフト等

トータルステーションは開業当初から丸6年になるソキアのDX-105ACです。装備は自動視準で大変重宝をしています。基本的な測量はなんとか出来るようになりましたが、精度を上げるための一工夫がまだまだ足りません、購入当初は全く動かすことができず機械に触ると頭が痛くなったことを思い出しますが、今は満足しています。もちろん1年に1回、私と共にメディカルチェックを受けて大切にしています、まだまだ働いてもらうつもりです。



SOKKIA, DX-105AC

測量ソフトはニコン・トリンプルのトワイズです、購入理由は別段ありませんでしたが販売店が事務所から近いこと、支部の調査士の殆どが同じメーカーを使用している為、データのやり取りがスムーズに行なえとの助言からですが、未だに思うようには動いてくれません。

申請ソフトはBBCを使用しています、申請環境は電子申請（特例方式）、図面関係はTIFFで送信しています。知り合いの調査士は「アホじゃないの」と調査士方式を進めますが今はこれで満足しています。まだまだ申請件数も少な

く法務局に行く事も調査士業務と考えています。

Q. 最後に

土地家屋調査士に就いて6年になりますが、この文面でも分かるように我が事務所を一言で言うと“苦節6年”で言い表せます。(未だ発展途上)

なんとか事務所の経費は出せるようになりました。あと何年、調査士を続けられるか。1年でも長く調査士を続けたいと考えます。調査士になってまだ6年ですから。

以上

追記

本来の趣旨であります「事務所紹介」から「開業7年目の決意表明」に表題が少々変わったようでもありますことを失礼します。

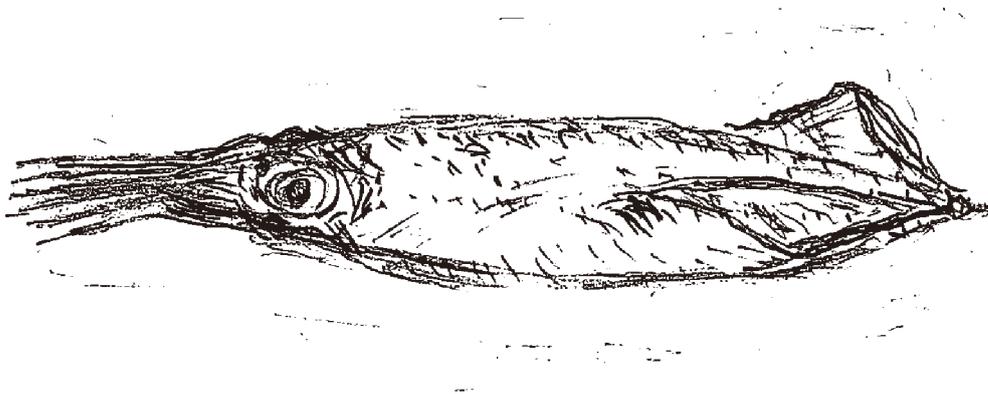
会員の作るページ

須佐男命イカ

萩支部 廣石 勝

日本海の恵みで、萩市須佐の漁師が一本釣りで、丁寧に獲った、こだわりのイカである。日本神話に登場する「須佐之男命（スサノオノミコト）」から命名された、神々しいばかりのブランド名となっている。このケンサキイカは春から秋が漁期ですが、冬場も少量は水揚げがあります。身は透明で、長さは15cm位の魚。とにかくデリケートな生き物で、処置を誤ると、すぐに弱ってしまう。甘みの豊かさと身の弾力による、その美味しさは格別である。地元には、そのイカを食べさせてくれる食堂もある。値段は、100g/500円（込）位である。このスケッチは、JR山陰線の須佐駅側にある店舗内の水槽で、悠々と泳いでいるイカを書いたものである。

上手に描けているかな！？



須佐男命イカ
2019(R).12.14
勝

事務局だより

会員異動状況

1. 会員入会状況

	ふりがな 氏名 (生年月日)	入会 年月日	事務所	TEL	FAX
	かみむら まさひろ 上村 正洋 (S48.9.1)	R4.3.22	〒758-0074 萩市大字平安古町241番地5	(0838) 25-2287	(0838) 22-8077
	すいづ かずなり 水津 一成 (S48.11.5)	R4.4.1	〒755-0008 宇部市明神町一丁目5番5号	(0836) 31-8481	(0836) 31-9149

◆新入会員よりひとこと

上村正洋 会員

この度、山口県土地家屋調査士会に入会させて頂きました上村正洋と申します。補助者歴は約25年ですが、まだ分からない事が多くあります。日々精進していきたくと思いますので、会員の皆様方には御指導御鞭撻のほど宜しくお願い致します。

水津一成 会員

この度、宇部支部に入会させて頂きました水津一成と申します。短期大学卒業後、父親の経営する測量設計事務所に勤務し30年弱になります。

ここ数年は補助者登録もしていましたが実務については、まだまだ素人同然です。

若くはない新人ですが1日を無駄にせず精進していきますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ致します。

2. 会員退会状況

支 部	地 区	氏 名	退会年月日	備 考
防 府	防 府	玉田哲二郎	R4.3.31	廃業

3. 会員数

令和4年4月1日現在会員数

会員数 209 法人数 3

4. 事務所変更

支 部	氏 名	変 更 年月日	変 更 後		
			事務所	TEL	FAX
周 南	山本 良正	R4.3.19	〒745-0809 周南市久米中央一丁目2番5号 (住居表示の変更)	-	-

5. TEL・FAX等変更

支 部	氏 名	変 更 事 項	変 更 後
防 府	松田 幹央	TEL FAX	0835-68-0717 050-3149-7153
山 口	梶山 実	FAX	083-976-5221

会務報告

開催日	会 務	場 所
1月6日(木)	法務局への新年挨拶	山口地方法務局
	正副会長会議	調査士会館
1月14日(金)	第11回業務部会	調査士会館
1月21日(金)	会則105条に基づく調査	調査士会館
	第4回理事会	(電子会議)
2月1日(火)	オンライン登記申請環境設定	周防大島町
2月2日(水)	日調連全国会長会議(電子会議)	調査士会館
2月9日(水)	境界問題相談所	山口地方法務局 周南支局
2月10日(木)	山口法律関連士業ネットワーク理事会	山 口 市
2月15日(火)	会則105条に基づく調査	調査士会館
2月16日(水)	銀行担当者向け研修会に関する意見交換会(電子会議)	調査士会館
2月22日(火)	第5回総務部会	調査士会館
3月2日(水)	日調連ADR担当者会同(電子会議)	調査士会館
3月3日(木)	第2回広報部会	調査士会館
3月4日(金)	中国ブロック協議会役員会議	広 島 市
3月9日(水)	会則105条に基づく調査	調査士会館
3月11日(金)	第12回業務部会	調査士会館
3月14日(月)	第3回財産管理人支援センター運営委員会	調査士会館
3月18日(金)	調査士法施行規則第40条第2項に基づく調査委嘱に関する協議	調査士会館
	第4回本部研修会	山 口 市
3月24日(木)	紛議調停委員会	山 口 市
3月25日(金)	筆界特定制度と土地家屋調査士会ADRとの連携についての協議会	調査士会館
	第5回境界問題解決支援センター運営委員会	調査士会館
3月27日(日)	表示登記の日無料相談会	宇 部 市
3月31日(木)	綱紀委員会	調査士会館
4月1日(金)	表示登記の日無料相談会	県下4会場 (田布施町、周南市、 山口市、下関市)
	会館修繕対応	調査士会館
4月1・2日(金・土)	山口会新人研修会	調査士会館
4月2日(土)	表示登記の日無料相談会	防 府 市
4月6日(水)	登録証交付式	調査士会館
	第1回業務部会	調査士会館
	予算見積協議	調査士会館
4月11日(月)	綱紀委員会	調査士会館
4月13日(水)	境界問題相談所	山口地方法務局
	決算監査	調査士会館
	第1回財務部会	調査士会館

開催日	会務	場所
4月19日(火)	会報編集会議	調査士会館
	第1回常任理事会	調査士会館
4月21日(木)	綱紀委員会	調査士会館
4月25日(月)	山口法律関連士業ネットワーク理事会	山口市
4月26日(火)	第1回理事会	調査士会館
4月28日(木)	綱紀委員会	調査士会館
	紛議調停委員会	調査士会館

補助者のみなさま、会員のご家族のみなさま

東京法経学院の土地家屋調査士講座が お安く受講できます！

山口県土地家屋調査士会は、日本土地家屋調査士会連合会中国ブロック協議会を通じ、東京法経学院と協定を結んでおります。この協定は会が推薦する方は、割引が適用された受講料で東京法経学院の講座が受講できるというものです。



補助者のみなさまや会員のご家族の皆様にも、ぜひこの制度を利用して土地家屋調査士を目指していただきたいと思います。

割引後の受講料一覧は事務局にございます。また受講を希望される方は、会より推薦書を発行しますので、会員を通じて事務局までお申し出下さい。

なお、当会会員の方で、他士業の資格の講座を受ける際も割引が適用される可能性がありますので、事務局までお申し出下さい。

広報部より

編集後記

この度、広報部長となり、任期が1年を過ぎようとしています。コロナ禍のためすべての行事があったわけではありませんが、この1年は、士業ネットワークの行事や中国ブロックの定時総会及び担当者会同がありました。担当者会同では、他県の方と広報部についていろいろと協議ができ、大変勉強になりました。

今後も会報やまぐちを充実した内容にできるように日々精進していきたいと思っております。

(広報部長 西村暢夫)

発行 山口県土地家屋調査士会
〒753-0042 山口市惣太夫町2番2号
電話 (083) 922-5975
FAX (083) 925-8552
ホームページ <https://www.chousashi.net/>
Eメール yamatyo@chousashi.net

発行者 山口県土地家屋調査士会
会 長 杉山 浩志
広報担当副会長 乗川 慎二
広報部長 西村 暢夫
理 事 荒川 猛
〃 廣石 勝

印刷所 大村印刷(株)



山口県土地家屋調査士会

〒753-0042 山口県山口市惣太夫町2番2号
TEL083-922-5975 FAX083-925-8552
ホームページ<https://www.chousashi.net/>
Eメールyamatyo@chousashi.net